

議案

【 市長提案説明 】

本日は市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には、何かとご多用の中、ご参集をいただきまして、誠にありがとうございます。

令和6年は、年が明けるとともに大規模災害や痛ましい事故が続く、大変厳しい状況から始まりました。まずは、1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」でお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りしますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。そして、被災地の一日も早い復旧、復興を心から願っております。

本市からは、桑名市総合医療センターのDMAT派遣を始めとして、建物の応急危険度判定支援や給水活動支援、緊急消防援助隊、下水道管路の被災調査支援、避難所等での支援活動に職員を派遣しておりますが、今後も関係機関などから被災地の状況の情報収集に努め、被災された方々に対して適切な支援を検討し、迅速に対応してまいります。

また、派遣した職員による報告では「どの現場においても、水や仮設トイレ、災害用簡易トイレ等の消耗品が圧倒的に足りないこと。被害が激しい能登半島先端に向かうにつれて、土砂崩れや陥没で道路網が寸断されて立ち入りが困難な状況にあるため、早期復旧の妨げになっていること。さらに、大部分の家屋が全壊やほぼ全壊という状況で壊滅的な被害を受けたこと。そして、多くの被災者が避難所生活を強いられており、降雪や厳しい寒さによる健康被害が懸念される。」という被災地の現状や災害対応等に必要となる貴重な情報を得ることができました。

今回の報告を受けて、私自身、改めて大地震の脅威を認識するとともに、自然災害への備えと防災対策の重要性をより一層強く感じたため、現在編成中の新年度予算への対応を指示したところであります。

災害はいつどこで発生してもおかしくないという認識の下、常に警戒を怠ることなく、気持ちを引き締めて、災害の発生予防・拡大防止の取組みを進めてまいります。

市民の皆様におかれましても、日頃から避難場所や避難経路の確認、非常用品の準備をしておかれるなど、災害への備えをお願い申し上げます。

それでは、ただいま上程となりました諸議案について、その概要を順次ご説明申し上げます。

はじめに、議案第1号「令和5年度桑名市一般会計補正予算（第11号）」につきまして、ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、政府において予備費の活用が閣議決定され、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の中に「給付金・定額減税一体支援枠」が創設されたことを受けて行うもので、この程、国から、その支援の内容が示されてまいりましたことから、速やかに予算措置を講じて対応すべく、民生費の増額をお願いするものでございます。

物価高騰の影響が続く中、低所得者を支援するため、今回、2つのメニューからなる給付金を支給するものでございます。

まず、1つ目は、住民税均等割のみ課税世帯を支援するため、住民税非課税世帯と同水準となる一世帯当たり10万円の給付金を支給してまいります。

次に、2つ目は、低所得者の子育て世帯を支援するためのもので、住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯における18歳以下の子どもに対して、一人当たり5万円の給付金を支給してまいります。

そのため、今回、これらに必要な給付金と事務費を計上いたしております。

なお、1つ目の給付金の対象となる住民税均等割のみ課税世帯の世帯数としましては2,800世帯を、また、2つ目の給付金の対象となる住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯における児童数としましては1,800人を見込んでおります。

また、歳入につきましては、国庫支出金で、今回の給付金に要する費用は、国が全額を負担いたします。

このほか、本事業につきましては、年度をまたいでの実施となりますことから、繰越明許費の設定も併せて行っておりますが、本日の臨時会において、この補正予算をお認めいただきましたら、速やかに準備等に取りかかり、少しでも早く支給を開始できるよう努めてまいります。

次に、議案第2号「桑名市手数料条例の一部改正」につきましては、戸籍法の改正に伴い、戸籍等に関する電子証明書提供用識別符号の発行手数料を定める等、所要の改正を行うものでございます。

よろしくご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

注) 上記の市長提案説明は、実際の発言と異なる場合がありますので御了承願います。

(会議録が正式な発言記録となります。)